

2017年7月

# 藤原直哉の学びのカフェ

～遠山郷出会い旅～

遠山郷で心の休日・懐かしい未来との出会い

**7月：大自然と人情に出会う**

**中央構造線露頭見学と熊谷治郎さん訪問**



中央構造線安康露頭

**研修日程：2017年7月29日（土）・30日（日）**

**研修場所：長野県飯田市南信濃地区（遠山郷）**

**研修企画：株式会社あえるば（旧社名 シンクタンク藤原事務所）**

**旅行手配：マツカワ観光バス株式会社**

## <1. ご挨拶>

このたびは、2017年7月藤原直哉の学びのカフェご案内要綱にお目通しいただき、まことにありがとうございます。遠山郷は長野県の最南端、飯田市の南信濃・上村地方の山深い谷にあり、飛騨の白川郷、越後の秋山郷と並んで、日本三大秘境のひとつとされています。

国の重要無形民俗文化財に指定されている遠山の霜月祭、神様の湯治場の伝説がある秘境の谷に湧いた天然温泉、遠山温泉郷「かぐらの湯」、日本のチロルと言われる下栗の里、南アルプスの雄大なパノラマを望むしらびそ高原、南アルプスの恵みをたっぷり含んだ名水・観音霊水など、数多くの伝統文化や雄大な自然が残っており、訪れた人はその日本の原風景の体験に魅かれています。

遠山藤原学校は昨年2016年には開催10周年を記念するにいたりまして、2017年からは新しい10年のスタートとなります。11年前、私はこれからの時代を生き抜く知恵を皆とともに学ぶにふさわしい場所を探して全国を視察しておりました。その中でご縁をいただいた場所が遠山郷です。高齢化の波にのまれそうになりながらも、雄大な自然とともに生きる知恵を受け継ぎたくましく生きる人々とお会いしたときに、日本のこれから進むべき道がはっきりと見えました。この秘境でしかできない教育がある、その思いを強く抱きながら11年遠山郷での研修を続けてまいりました。

遠山藤原学校10周年となる昨年より、当初の「遠山藤原学校」という名称から「藤原直哉の学びのカフェ」に変更いたしました。「カフェ」という場所は、老若男女誰でも一緒に空気を共有してありとあらゆるテーマの話題が交わされ、皆が肩に力を入れることなくリラックスしながら過ごすことのできる場所です。「学校」という言葉の響きは、人を平均値や中央値にならしていき不自然でロボットのような人生設定機関を連想させますが、「カフェ」は外れ値や特異値をよしとする雰囲気になった、生命と新しい人生・社会の希望を思い起こさせる言葉で、何ひとつ同じもののない大自然のゆらぎを感じながら学んでいただきたいという思いを込めております。「カフェ」ですので実際に、吟味された豆を挽いて手で淹れる本格コーヒーを味わっていただきながら私の講演をお聴きいただく機会も設けております。

11年目となる節目の今年2017年、内容も模様替えいたします。2016年のアメリカ大統領選挙でトランプ氏が勝利を収め、それを起点にネオコン連中が迫られる身となりその影響が全世界的に広がっています。世界の体制は大峠を越えました。これからは変化による痛みを伴いながらも、新しい時代の幕開けが感じられることでしょう。「藤原直哉の学びのカフェ」も時代の流れとともに変わってまいります。これまでは、暗く冷たい時代をどう生き延びて未来に自らがどう光明を見出していかを模索していただくために、普段とは違う環境に身を置いて2日間ともに座学研修を設けて、生き方や時代の動きを学んでいただくスタイルでした。

しかし今、新しい方向に舵が切られました。人々が求めるものは共生であり分かれ合いです。思考もさることながら直感が大事にされます。豊かな自然環境に足を運んでいただくわけですから、都会ではできないことを体験していただく機会をご用意いたします。毎回特集メニューを組みましていろいろなものを見学、体験していただきます。地元の方々、学びのカフェスタッフとの懇親、語らいがあります。それらは現在においては非日常のことかもしれませんが、でもかつては、それらが日常の光景だったのではないのでしょうか。今年のテーマは「遠山郷で心の休日・懐かしい未来との出会い」です。

## <2. 研修の内容>

一泊二日の研修の大まかな流れですが、まず、1日目は12時30分に、遠山郷の中心、和田地区にあります道の駅「遠山郷」内の、遠山郷観光協会の施設「アンバマイ館」に集合

していただきます。その後昼食をおとりいただき、和田地区内にあります龍淵寺、和田城を見学します。その後、途中遠山川沿いの埋没木と熊野神社に立ち寄りながら、車にて木造校舎が美しい旧木沢小学校へまいります。到着後は校舎や木沢地区を“ぶら歩き”して、私たちスタッフが遠山郷での拠点としております通称「木沢の家」で**お茶会**を行います。藤原直哉がお抹茶をお点ていたします。窓を開ければ目の前に広がる里山の光景が、暗くしての夜話スタイルなら和ろうそくのゆらぎが心を休めます。その後はまた和田地区へ戻り、道の駅「遠山郷」内のかぐらの湯の温泉に浸かり、宿泊の宿で夕食・懇親会、ご希望の方は二次会としてカラオケスナック舞夢(マイム)へまいります。

2日目の今回7月の特集は「**大自然と人情に会う**」です。まずお宿を出発後に**中央構造線の露頭「安康露頭」**へ向かいます。遠山郷は日本列島を東西に走る大断層中央構造線の通り道なのです。地層の差が鮮明に表れており自然の神秘を楽しむことができるとともに、周りは木々の緑と清涼な川原がさわやかな地域で居心地の良い自然の雰囲気も満喫していただける場所です。その後、下栗の里近辺にある**熊谷治郎さん**のお宅を訪問いたします。熊谷治郎さんのお宅からは南アルプスの絶景を望むことができますが、熊谷さん自身その絶景に惚れこんでこの地に自らの手でお宅を建てられました。また熊谷さんは遠山郷でも名高いおもてなしの達人で、毎年地元で開催されているマラソン&ピクニック大会のマラニックでも、ランナーへの気遣いあふれるおもてなしが抜群で、ランナーの方からの人気も絶大で熊谷さんに会うために大会に参加されている方もいるくらいです。大自然と人情、この二つの魅力を存分に味あわせてくれる場所がまさに熊谷さんのお宅で、どこの観光地、宿泊施設でも体験できない唯一無二の場所です。お昼もそちらでいただきながら、参加者同士、熊谷さんご夫婦、皆で交流を深めましょう。

その後、車で旧木沢小学校まで移動し、そちらにて**藤原直哉の時局展望講演会**を行い、研修旅行の終了、解散となります。JR平岡駅までお送りいたします。

### <3. 見学場所のご案内>

1日目の昼食後にまず向かう**龍淵寺**は地域の有力豪族であった遠山氏の菩提寺です。遠山氏の居城跡に建てられたその境内には樹齢**500年**の**観音大杉**があります。これは根元が一体となった4本の杉で、家族和合のしるしとして、参詣する人が絶えません。さらに龍淵寺には7年前に再建された総けやき作りの立派な観音堂があります。このお寺では長くお写経を続けていて、奉納されたお写経がこの観音堂に納められています。光堂と名付けられた観音堂からは和田宿が一望できます。その境内に沸く観音霊水は**400年**以上前から湧いているお水で、真夏や早魃でも枯れずにいつも冷たくておいしい水がコンコンと湧いています。そのお水を近年専門家に調べてもらったところ、**名水のなかでカルシウムやマグネシウムの含有量が日本で最も多い**ということが判明しています。ぜひ味わってみてください。

龍淵寺のお隣にある**和田城**は遠山郷の郷土資料館で、この地区に数百年前から伝わる国の重要無形民俗文化財、**遠山の霜月祭り**のビデオや複製の面(おもて)、また林業に関する展示、さらには遠山氏の子孫の方が伝えている宝物などを見学します。ここでは目の前の観音霊水で入れた大変おいしいコーヒーが提供されていますのでこちらで一息ついてください。

その後に訪問する**旧木沢小学校**は、遠山郷の木沢地区にある、木造校舎の廃校を利用した地域活性化施設です。旧木沢小学校は、平成3年に休校、平成11年に廃校となった地元の小学校で、現在に残る懐かしい木造校舎は、昭和7年に地元の人々の情熱によって建てられたものです。そのため廃校後も何とかこの木造校舎を保存し、同時にここを地域活性化の拠点とすべく、地元の有志が**木沢地区活性化推進協議会**という団体をつくって、木造校舎の維持管理を行っています。校内の教室には遠山の霜月祭り、地元を走っていた森林鉄道である**遠山森林鉄道**、南アルプスの登山道整備などを行っている遠山山の会、昭和時代の遠山郷の写真などが展示されているほか、藤原直哉の蔵書3千冊を寄贈した**藤原文庫**もあります。さ

らにここには年間を通じて多くの方が見学に訪れ、また空き教室を利用した講演会や集会、演奏会、映画会の開催、引っ越しのサカイのCM撮影などが行われていて、まさに地元の方と来訪される方との貴重な交流の場にもなっています。

また、旧木沢小のすぐ近くには遠山藤原学校農園があります。この農園は廃耕地となっていた畑をお借りして、手弁当で駆けつけてくださる遠山郷ボランティアスタッフと地元のみなさんが力を合わせて開いた農園です。今年は、経済的な事情から家庭で十分な食事が得られない子どもたちに食事を提供する「子ども食堂」へのご縁を探り、採れた作物をそういった施設に提供する目的を持って運営します。またここでは21世紀の肥だめとして注目されている新しい複合発酵技術を使った液肥を作り、散布しています。その様子もご覧いただけます。旧木沢小学校がある木沢地区はかつての林業の拠点であり、光岳や聖岳を目指す南アルプス登山の玄関口であるため見渡せば美しい山々に囲まれています。その木沢地区を少し歩いてみましょう。同じ木沢地区にある梨元停車場はかつて遠山森林鉄道の起点、梨元貯木場があったところで、昭和40年代に森林鉄道が廃止されてからは南アルプス登山の玄関口となっています。この構内にはかつて森林鉄道を走っていた機関車と客車が静態保存されていたのですが、3年前から地元の有志が夢をつなごう遠山森林鉄道という団体を作り、鉄道をもう一度動かそうと立ち上がりました。そして地元や各地の専門家の応援を得ながらついに機関車が動くようになり、地元の有志が線路をかき集めてきて今や300メートルほど軌道を整備し、さらに地元の大工さんに走行可能な客車を復元していただき、ついに遠山森林鉄道の車両が動くようになったのです。夢を現実にしてしまう地元の方々の熱い思いが結集された場所です。

遠山温泉郷「かぐらの湯」の源泉は、全国でも珍しい43度の高濃度塩化物温泉で、体がよく温まり、浴室内で温泉を飲用することもできます。この地域は今回見学予定になっている中央構造線のために地形が非常に複雑で、地質学的にも謎が多い場所ですが、この温泉はそういう複雑な地質が生んだ珍しい温泉です。

温泉の後は当日のお宿であります和田地区の旅館、大島屋旅館に歩いて向かいます。建物はきれいですが、創業250年の老舗旅館で、ロビーには樹齢700年の遠山檜が飾られております。そこでまずはチェックインをしてお荷物を置いていただきます。また、神代の湯という温泉があり、旅の疲れを癒してくれます。

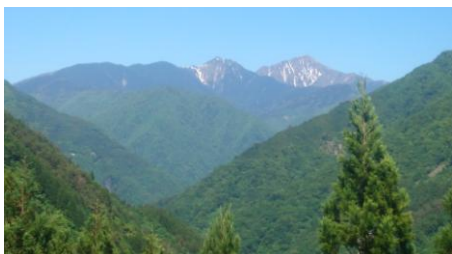
夕食は歩いて数分の山肉料理の老舗専門店、星野屋さんにて、遠山郷の郷土料理である鹿やイノシシなどの山肉料理を囲みながら地元の方々と交えての懇親会となります。遠山郷は山里ですので昔から、鹿、イノシシ、クマなどの動物の肉を食用にしています。野生の動物の肉はジビエ料理として都会でも最近人気を集めていますが、遠山郷はそのジビエの本場です。何しろ野生ですから配合飼料などは一切食べずに、完全に自然の無添加のえさだけを食べて育てています。まさに完全無添加のお肉に舌鼓を打ちながら、遠山郷の皆さんと交流してください。お肉を召し上がらない方はお申し込み書にその旨の記載欄がございますのでそちらでお知らせください。旅先の思い出は何と言っても人との交流ですが、一般的な旅行ではなかなか旅先の地元の人たちとじっくりと交流するという機会はなかなか持てません。しかしこの学びのカフェでは10年にわたるご縁で地元の方々とも深いおつき合いをさせていただいていますから、ぜひこの機会に地元の方との懇親をお楽しみください。学びのカフェの醍醐味の一つはそこにあります。

また夕食・懇親会后、ご希望の方は地元のカラオケスナック「セラード舞夢（まいむ）」へお連れします。実は毎回、遠山藤原学校はこの二次会の舞夢が大変盛り上がるのです。参加者の皆さんが本当にリラックスして語り合い、歌う姿はとても明るく温かい雰囲気になっています。どうぞ遠山郷の夜を舞夢で元気にお楽しみください。

2日目は中央構造線の露頭が見える安康の露頭に向かいます。ここは長野県の天然記念物にも指定されており、見事な断層が目の前ではっきりと見られ、足元にはさまざまな種類、色の石が落ちています。そこに分布される岩石には中央構造線の約8000万から9000

万年前の活動が刻まれており、その価値の高さから国の天然記念物にも指定されています。

それから上中根という地域の熊谷治郎さん宅に伺います。中根地区は遠山郷の絶景ポイントとして有名な下栗の里に登る途中にあり、山の中腹を開墾して人々が住んでいる、とても眺めのよいところです。熊谷さん宅は、遠山郷でも有数の急斜面にあり、天気良ければ南アルプスの主峰、聖岳（ひじりだけ）をはじめとした山と谷の絶景をご覧いただけます。下の写真左側は、熊谷さん宅から見た南アルプスの主峰です。真ん中が参加者と熊谷さん始め地元の方々の懇親会の様子、そして右側の写真の右端が熊谷治郎さんです。



交通のご案内です。電車でお越しの方は、まずJR飯田線の平岡駅までお越しください。東京方面からお越しの方は、東京8時33分発のひかり505号にご乗車いただき、豊橋でJR飯田線の特急伊那路1号に乗り換えて、平岡には11時57分に到着します。平岡駅から道の駅「遠山郷」内にあるかぐらの湯バス停までは乗り合いタクシーをご利用ください。お1人600円、所要時間約20分、特急の到着に連絡していますので、下車後改札を抜け、駅前広場まで階段を下ってください。そこでワンボックスタイプの乗合タクシーにお乗りください。平岡駅の予定発車時刻は12時10分、かぐらの湯には12時30分に到着です。そしてアンバマイ館はかぐらの湯バス停の目の前です。また自家用車でお越しの方は、中央自動車道の飯田インターチェンジから約1時間です。カーナビで「かぐらの湯」を設定いただくと、他のインターチェンジが表示される場合がありますが、飯田インターで降りていただく方が道も整備されており運転もしやすいかと思われまます。

日曜のお帰りですが、午後4時に旧木沢小学校で解散。電車でお越しの方はJR平岡駅までお送りいたします。電車でお越しの方は、平岡駅を16時42分に出る特急伊那路4号で豊橋に行き、豊橋からひかり530号に乗り換えて、東京には20時10分に到着という行程がよろしいかと思ひます。

2017年6月吉日

株式会社あえるば（旧社名 シンクタンク藤原事務所）  
会長・経済アナリスト 藤原直哉

## <4. 研修日程表>

7月29日（土）

時間	予定		写真
12:30	集合	道の駅「遠山郷」内、アンバマイ館に集合 研修の説明と参加者の自己紹介、スタッフ挨拶	
12:45	昼食	温泉施設「かぐらの湯」内「味ゆ〜楽」にて	
13:30	見学	龍淵寺、和田城見学、コーヒータイム	
15:00		旧木沢小学校へ 途中、埋没木と熊野神社見学	
15:50	到着	旧木沢小学校到着後、校舎、農園、 木沢地区見学	
16:30	体験	「木沢の家」にてお茶会	
17:00	出発	「大島屋旅館」へ。	
17:10	到着	到着後、チェックイン。	
17:15	出発	かぐらの湯へ。	
17:25	到着	入浴	
18:20	出発	「星野屋」へ。	
18:30	夕食	星野屋にて夕食・懇親会	
20:30	出発	懇親会終了。二次会希望者は「舞夢」へ	

- ・ 朝夕は冷え込む場合もありますので薄手の上着をお持ちください。
- ・ 観音霊水を汲んで帰られる方は、別にペットボトルやポリタンをご用意下さい。

7月30日(日)

時間	予定		写真
7:00	朝食	大島屋旅館にて	
8:00	出発	ふじ姫まんじゅうへ	
8:15		おまんじゅう試食後、出発	
9:15	到着	安康露頭見学	<p data-bbox="1066 629 1219 663">大島屋旅館</p>
9:45	出発	熊谷治郎さん宅へ	
10:45	到着	到着後、自由時間	
11:30	昼食	昼食兼懇親会	
13:30	出発	旧木沢小学校へ向けて	
14:00	到着	旧木沢小学校到着	
14:30	講演	藤原直哉の時局展望講演会	<p data-bbox="1075 972 1315 1005">ふじ姫まんじゅう</p>
16:00	終了	旧木沢小学校にて解散	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>悪天候の場合は、臨機応変に対応させていただきます。</u></li> <li>・ <u>電車でお越しの方は、解散後にJR平岡駅までお送りします。豊橋方面行特急の平岡出発は16:42です。</u></li> </ul>	
			

## <5. 研修費用> (消費税込み)

大人 1名 (中学生以上)	51,840 円
大人 1名 (中学生以上) :マイカー利用コース (研修行程をマイカーで移動)	41,040 円
子供 (小学生以下) 1名	上記の価格の半額
講演会のみご参加 (日曜 14:20 ~15:50) 1名	5,000 円

なお、お食事とお布団、バスの座席の事前のご用意が必要でない乳児は無料です。

### (1) 研修費用に含まれるもの

・ 宿泊料金	原則として相部屋です。ご家族での一部屋でのお泊りはできる限り配慮させていただきますが、保証はできませんのでご容赦ください。宿泊は、  大島屋旅館 〒399-1311 長野県飯田市南信濃和田 1394 TEL0260-34-2030・FAX0260-34-2077
・ 食事料金	日程表に記載された昼食2回、夕食および懇親会1回、朝食1回 (なお子供料金にてご参加の方は、1日目の夕食がお子様定食になります)
・ 入浴料 ・ 入館料 ・ 講演料 ・ ガイド料 ・ 管理料 ・ 鉄道・バス費用 ・ 旅行保険料	日程表に記載された施設での入浴料、入館料、講演料、ガイド料、旧木沢小学校管理料、日程表内の貸切バス交通費、下記旅行保険料は研修費用に含まれています。 ただし、マイカー利用コースには貸切バス交通費は含まれておりません。
・ 研修講師	株式会社あえるば (旧社名 シンクタンク藤原事務所) 藤原直哉
・ 旅行保険	(限度額お一人様死亡障害1千万円)

### (2) 研修費用に含まれないもの

・ 個人的性質の費用	タバコ、洗濯、電報電話、お酒・ジュース等の飲み物、お土産、個人の飲食などは個人負担をお願いします
------------	--

## <6. 旅行手配>

マツカワ観光バス 株式会社	〒399-3304 長野県下伊那郡松川町大島 1909-2 (本社/営業所) TEL: 0265-36-2345 (代) FAX: 0265-36-6060  総合旅行業務取扱管理者: 松村 康文	長野県知事登録旅行業 : 第 3-442 号  社団法人全国旅行業協会正会員
------------------	--	---

## <7. 研修要領>

募集人員	<p>10名</p> <p>参加申込書をマツカワ観光バス株式会社宛てにお送りください (FAX または郵送でお願いします)。</p>	
研修代金	<p>2017年7月21日(金)までに、研修代金の全額を以下の口座へお振込みください。振込手数料はお客様負担にてお願いいたします。</p> <p>八十二銀行 松川支店 ハチジュウニギンコウ マツカワシテン 店番号 581 口座番号 普通口座 276802 口座名義 マツカワ観光バス株式会社 マツカワカンコウバス (カ)</p>	
取消料	<p>お申し込み後、お客様の都合でお取り消しになる場合、当方の手続きを開始または完了している場合は、次の取消料を申し受けます。</p>	
	開始日の前日より起算してさかのぼって20日目以降	参加費用の20%
	開始日の前日より起算してさかのぼって7日目に当たる日以降	参加費用の30%
	出発日の前日	参加費用の40%
	出発日の当日	参加費用の50%
研修開始後又は無連絡不参加の場合	参加費用の100%	
研修企画 (お問い合わせ)	<p>株式会社あえるば 〒250-0011 神奈川県小田原市栄町 2-13-12 ASUKA ビル 2F 電話 0465-44-4750 FAX 0465-44-4751</p> <p>電子メール iwamoto@aeruba.co.jp 担当 岩本寛 (いわもと ひろし)</p> <p><u>なお、当日の緊急連絡は、岩本寛の携帯電話へお願いします。</u> <u>080-9214-0563</u></p>	

## <8. 研修概要>

・ 研修名称	2017年7月 藤原直哉の学びのカフェ
・ 日時	2017年7月29日(土)・30日(日)の2日間
・ 研修場所	長野県飯田市南信濃地区および下伊那郡
・ 集合・解散場所	集合：7月29日(土) <u>12:30 道の駅「遠山郷」内、アンバマイ館</u> 解散：7月30日(日) 16:00 旧木沢小学校 <u>なお、当日の緊急連絡は、岩本寛の携帯電話へお願いします。</u> <u>080-9214-0563</u>
・ 研修内容	各種見学、体験、講演、学習など
・ 研修講師	株式会社あえるば(旧社名 シンクタンク藤原事務所 藤原直哉 および地元、学校スタッフ

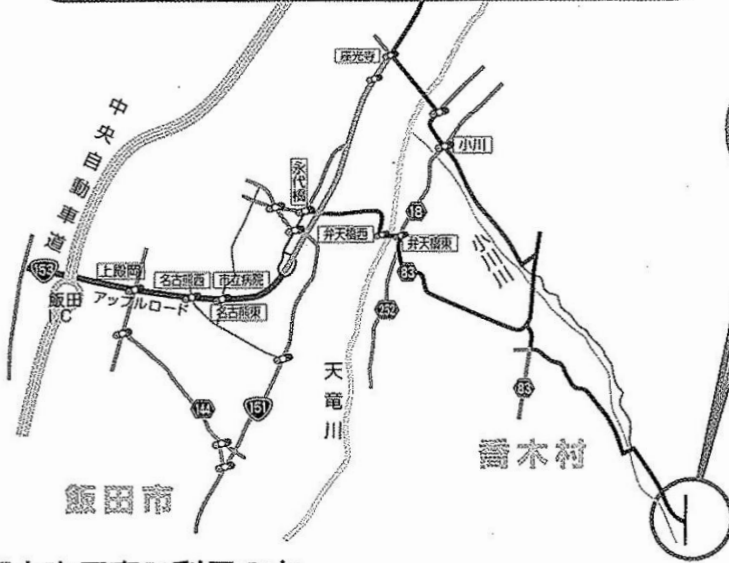
## <9. 現地集合・解散場所まで／からの自家用車、電車での交通手段(ご参考)>

(1) 自家用車でお越しの場合	<p>集合場所： 長野県飯田市南信濃和田 548-1 道の駅「遠山郷」内、 観光案内所「アンバマイ館」(かぐらの湯バス停目の前) (電話 0260-34-1071) 中央高速道 飯田、松川インターチェンジから約1時間 中央高速道 飯田山本インターチェンジから約1時間 新東名高速道 浜松浜北インターから、 兵越峠経由で約2時間</p>
(2) 電車でお越しの場合	<p>東京方面から (行き) 東京 8:33 ひかり505号 豊橋 9:56 豊橋 10:08 特急伊那路1号 平岡 11:57 下車後、かぐらの湯まで乗合タクシーで20分 お一人600円 (帰り) 旧木沢小学校からかぐらの湯まで車で10分、 かぐらの湯から平岡駅まで乗合タクシーで20分 平岡 16:42 特急伊那路4号 豊橋 18:31 豊橋 18:47 ひかり530号 東京 20:10</p>

## <10. 注意事項、および持ち物など>

- ・ 朝夕は冷え込む場合がありますので、薄い上着をお持ちください。
- ・ 一部歩きにくい場所がございます。歩きやすい服装をお持ちください。
- ・ 日差しが強い場合に備えて、帽子をご持参ください。
- ・ 観音霊水を汲んで帰られる方は、別にペットボトルやポリタンをご用意下さい。
- ・ 山道を走行いたします。自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。
- ・ なお、携帯電話は、電波が届かない場所があります。

# ロードマップ from 飯田



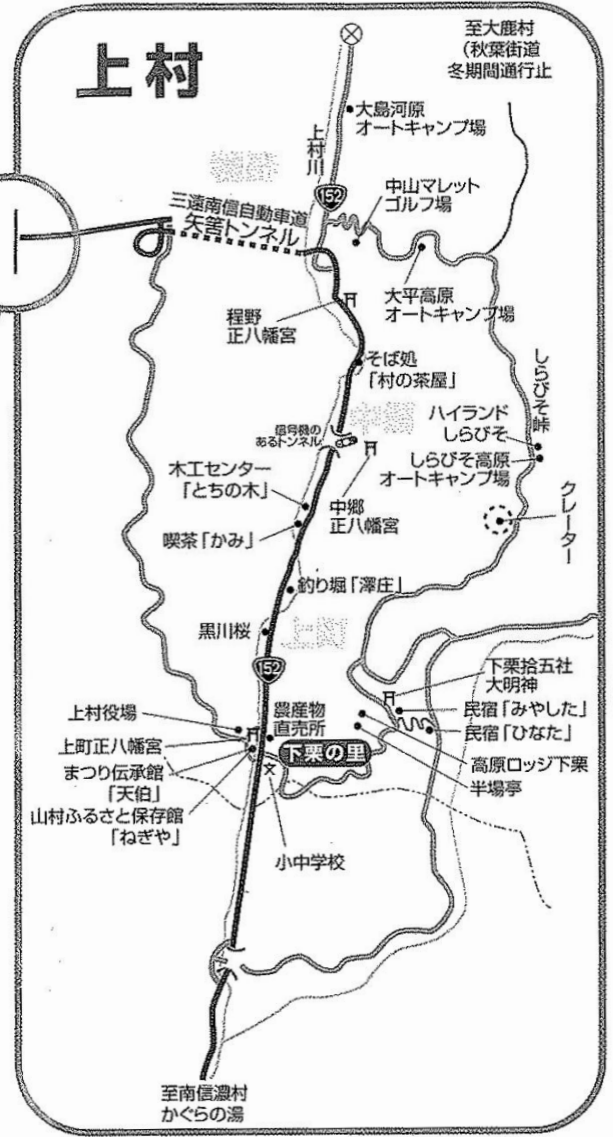
## ■自家用車ご利用の方

- ・中央自動車道飯田I.Cより県道上・飯田線、三遠南信自動車道矢筈トンネル経由、上村程野まで約26km 飯田I.Cより約40分
- ・中央自動車道松川I.Cより国道153号経由、上・飯田線、三遠南信自動車道矢筈トンネル経由で上村程野まで約32km 松川I.Cより約60分
- ・名古屋方面より国道153号(平谷経由) 国道418号(売木・天龍村経由) 国道152号で南信濃村経由上村まで 名古屋より約3時間30分
- ・浜松方面より国道152号(南信濃村経由) 上村まで 浜松より約3時間

## ■バスをご利用の方

- ・程野、上村役場前にて下車し、目的地まではタクシーをご利用下さい。

天竜観光タクシー TEL.0260-36-2015  
(ご利用の際は予約を済ませてお出掛け下さい)



## 営業案内

- |        |   |
|--------|---|
| 貸切バス事業 | 一般貸切、各種送迎<br>小さなグループから団体旅行まで<br>旅のガイド付、地域観光案内                           |
| 旅行事業   | 海外旅行、国内旅行<br>一度行ってみたいかった話題の観光地<br>ご希望に応じたコースの企画・見積と<br>手配・ご案内をさせていただきます |



4列20人乗りサロン車



4列21人乗りサロン車

## マツカフ観光バス株式会社

本社/営業所 TEL 0265-36-2345(代)  
FAX 0265-36-6060

〒399-3304 長野県下伊那郡松川町大島1909-2  
一般旅客運送業 北信交旅第813号  
長野県知事登録旅行業 第3-442号  
社団法人 全国旅行業協会正会員

## <11. 観光タクシー運行>

アップルキャブ南信州タクシー有限会社  
〒395-0153 長野県飯田市上殿岡 717-4 TEL 0265-28-2800

# 申 込 書

2017年7月 藤原直哉の学びのカフェ 7月29日・30日 ご記入日： 年 月 日

**丸印でご希望をご選択ください**

・マイカーでご参加  
¥41,040 (税込み)

・電車でご参加  
¥51,840 (税込み)

フリガナ	性別	男 ・ 女	
お名前	生年 月日	明・大・昭・平 (西暦 年 月 日 (満 歳)	
弊社お客様番号 (おわかりになる場合)			
フリガナ	性別	男 ・ 女	
お名前	生年 月日	明・大・昭・平 (西暦 年 月 日 (満 歳)	続柄
フリガナ	性別	男 ・ 女	
お名前	生年 月日	明・大・昭・平 (西暦 年 月 日 (満 歳)	続柄

## ■ご連絡先について

<input type="checkbox"/> ご自宅 <input type="checkbox"/> 会社・学校    ※どちらかにチェックをおつけください。			
会社名 学校名等	※ご連絡先が「会社・学校」の場合にご記入ください。  部署： _____ 役職： _____		
ご連絡先 住所	〒 _____		
TEL	(       )       -	FAX	(       )       -
携帯電話	緊急時 連絡可・不可		
電子メール	@		
喫煙の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <small>※部屋割りの参考にさせていただきます。</small>		
<b>●ご希望などございましたらお書きください。</b> ・お肉なしを希望、日曜講演会のみ参加希望、など。			

↑ FAX送信先： 0265—36—6060 ↑  
(マツカワ観光バス株式会社)